REAL4(Ver1.60.01)

平成 28 年 1 月 5 日

【不具合修正内容】

配置	母屋のピースを CAD 修正時、スカラップを取るような形にした場合に作図でエラーになる場合があったので修正しました。
	Ver1.60 から、ブレースが補助線接続の時、シート形状がおかしくなる場合があったので修正しました。
	ハンチスタイル設定でＲ値の設定をしているのですが、ダイアと一体化するとＲ値がなくなっていたので修正しました。
	ハンチフランジサイズがダイアと一体化すると柱面からのサイズに変ってしまっていたので修正しました。
	シートの CAD 編集時、補助線のみを書き込み保存後、再度開くと補助線が回転していたので修正しました。
	ブレース既製品入力で、勾配梁または転んだ梁の天場を基準に上下で下げて梁下フランジに付けるように入力すると位置が変になる場合があったので修正しました。
	L 形鋼の梁で部材向き＝横向き配置時、ガセットボルトが部材芯になっていなかったので修正しました。
	ガセット厚が仕口から外れると、ガセット形状、エンドプレート形状が側面図でおかしく作図される場合があったので修正しました。
	仕口詳細設定で傾きがある通しダイアを CAD 編集した際に通しダイア図形に回転がかかってしまう場合があったので修正しました。
	ブレース既製品入力で、基準が端部上下指定以外の場合、間隔基準によって、取り付く部材の認識が変わってしまう場合があったので修正しました。
	Ver160 よりブレース複写を行うとエラーになる場合があったので修正しました。
図面編集	Ver1.60 より補助線の伸縮ができなかったので修正しました。
柱詳細図	ハンチブラケットのウェブがずれている場合、断面図の鋼材の幅が視野方向と逆になっていたので修正しました。
梁詳細図	CAD 編集したピース図形がきちんと作図できない場合があったので修正しました。
	作図ボタンを連続してクリックするとエラーになる場合があったので修正しました。
	切り口が斜めのパイプの間柱が取り付いた場合、間柱の回転角度によってはうまくパイプ鋼材の板厚が作図できない場合があったので修正しました。
	胴縁の追い寸法が整数設定にならなかったので修正しました。
	スタイル 3 の時、リストの台数が、2 桁時罫線からはみ出していたので修正しました。

加工指示書	仕口加工指示書のブラケットの胴縁断面図の作図で、胴縁鋼材に「塞ぎ部材　内」を使用している場合にコーナーピースの作図をしていなかったので修正しました。
	胴縁加工図で寸法線が飛ぶ場合があったので修正しました。
ボルトマスター	Ver1.60 より、共通ボルトマスターのファイルを選択するとエラーになっていたので修正しました。

（株）データロジック
〒759-3113　　山口県萩市大字江崎 25-1
TEL　08387-2-1129　　FAX　08387-2-1866